本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

P

USER'S GUIDE

1670

- EL backlighting
- 24 hours countdown timer
- 1/100 sec. stopwatch
- Full auto calendar
- Alarm/Hourly time signal

CASIO

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

かぶれやアレルギーについて

かぶれやすい体質の方や体調によっては、かゆみ・かぶれを生じる場合があります。万一、皮膚に異常を生じた場合は、直ちに使用を中止し、専門医にご相談ください。かぶれの原因としては次の場合が考えられます。
1.金属・皮革に対するアレルギー
2.時計本体およびバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗など

お手入れについて

本体やバンドは吸湿性のよい柔らかい布でふいて、いつも清潔にしてご使用ください。汚れたままにしておくと、変色や破損、皮膚のかぶれの原因となることがあります。
万一、本機使用により皮膚がかぶれたときは、そのバンドの使用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

ステンレス製のバンドの場合、汚れからサビが発生し、衣服の袖を汚すことがあります。

分解しないでください

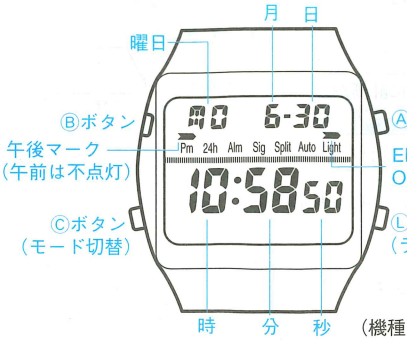
本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。

操作のしくみと表示の見方

※機種によりデザイン上デジタル表示部に反転液晶を使用しているものもあります。

Ⓒボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

時刻・カレンダーモード



（機種により形状は異なります）

（曜日の見方）

SU	日
MO	月
TU	火
WE	水
TH	木
FR	金
SA	土

★ELバックライトON/OFF切り替え
Ⓐボタンを1～2秒間押し続けるごとに確認音が鳴り、ELバックライトのON（Light点灯）/OFFが切り替わります。
※「★ELバックライトの自動発光」参照

Ⓒ（※各モードで何らかのボタン操作*を行なった後にⒸボタンを押すと直接時刻・カレンダーモードに戻ります。
*アラームモード、タイマーモードでのライト点灯は除く）

アラームモード

月・日が指定できるアラーム時刻セット、および毎正時の時報セットができます。



Ⓒ

タイマーモード

1秒単位で、最大24時間までの減算計測ができます。



Ⓒ

ストップウオッチモード

1/100秒単位（1時間を超えると1秒単位）で23時間59分59秒（24時間計）まで計測できます。



Ⓒ

■表示照明用ＥＬバックライトについて

どのモードのときでも、Ⓛボタンを１回押すと文字板が約２秒間発光します。



※発光しているときにもう一度Ⓛボタンを押すと、その時点から引き続き約２秒間発光します。
※ライトOFF（Light不点灯）でもⓁボタンを押すと発光します。

★ＥＬバックライトの自動発光
ライトON（Light点灯）のときは、電子音報音のタイミングに合わせて自動的に文字板が発光します。
※電子音報音（発光）のタイミングについては各機能の項目をご覧ください。

<ＥＬバックライトの発光に関するご注意>
●直射日光下では、発光が見えにくくなります。
●電子音の報音と発光のタイミングが若干ずれることがありますが故障ではありません。
●発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中止します。
●発光中に時計本体より音が聞こえますが、これはＥＬパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

■秒の合わせ方　…30秒以内の遅れ／進みの修正

月に１度くらいこの秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1)時刻・カレンダーモードのときに、

Ⓑボタンを押します

→「秒」が点滅します。

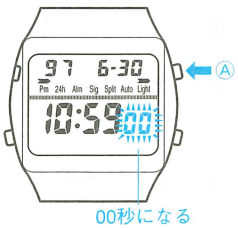
〈時刻・カレンダーモード〉



(2) 時報に合わせて、Ⓐボタンを押します

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは１分くりあがって、「00」秒になります。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



(3)秒合わせが終わりましたら、

Ⓑボタンを押して点滅を止めます



※秒（時刻・カレンダー）セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

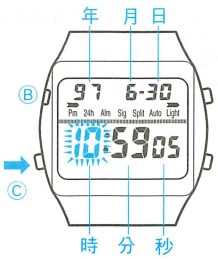
■時刻・カレンダーの合わせ方

(1)時刻・カレンダーモードのときに、

Ⓑボタンを押します

→「秒」が点滅します。

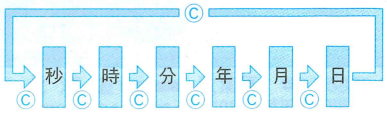
〈時刻・カレンダーモード〉



(2)セット箇所を選ぶ

Ⓒボタンを押します

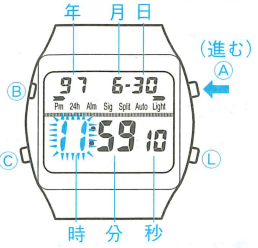
Ⓒボタンを押すごとにセット箇所（点滅表示）が以下の順に移動します。



(3)点滅箇所のセット

Ⓐボタンを押します

→Ⓐボタンを押すごとに、点滅している数字が１つずつ進みます。
※押し続けると早く進みます。



★12/24時間制表示切り替え
表示が点滅しているときに、Ⓛボタンを押すごとに12時間制表示（午前／午後“Pm”）と24時間制表示（24h）とが切り替わります。

上記(2)～(3)の操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。
※「時」のセットのとき午前／午後(Pm)、24時間制にご注意ください。
※「年」は1995～2039年までセットできます。
なお、「年」をセットすると自動的に曜日を表示します。

(4)セットが終わりましたら、

Ⓑボタンを押して点滅を止めます

アラームの使い方

時刻・カレンダーモードのときにⓒボタンを1回押すと、アラームモードになります。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

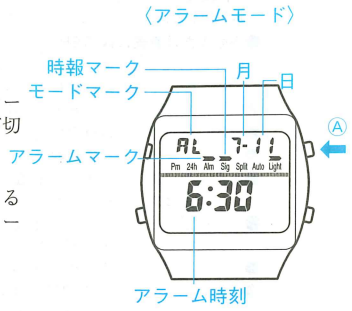
■アラーム・時報を鳴らすには

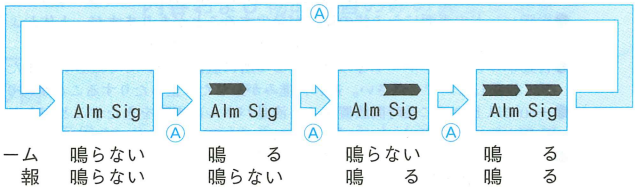
アラームモードのときに、

Ⓐボタンを押します

➡Ⓐボタンを押すごとに以下の順でアラームON／OFFおよび時報ON／OFFが切り替わります。

※なお、アラーム時刻をセットすると“ Alm ”が点灯し、自動的にアラームONとなります。
（「■アラーム時刻のセット」参照）





■アラーム・時報の報知方法

●アラームONのとき
セットしたアラーム時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。

●時報ONのとき
毎正時（00分）になると、“ピッピッ”と電子音が鳴ります。

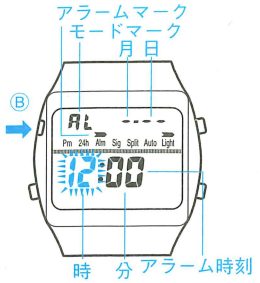
※このとき、いずれの場合でも、ELバックライトON（ Light 点灯）にしておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。



■鳴っている電子音を止めるには

アラーム（時報）音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、ⒶⒷⓒⓁボタンのうち、いずれか1つを押します。

■アラーム時刻のセット



(1)アラームモードのときに、

Ⓑボタンを押します

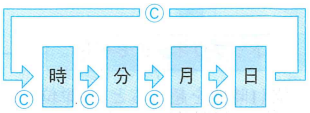
➡アラーム時刻の「時」が点滅します。

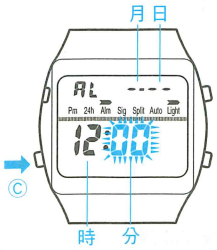
※このとき“ Alm ”が点灯し、アラームONとなります。

(2)セット箇所を選ぶ

Ⓒボタンを押します

Ⓒボタンを押すごとにセット箇所（点滅表示）が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。





(3)点滅箇所のセット

Ⓐボタンを押します

➡Ⓐボタンを押すごとに、点滅している数字が1つずつ進みます。
※押し続けると早く進みます。



●「時」のセットのとき、午前／午後“Pm”にご注意ください。
●時刻を24時間制“24h”にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。
●「時・分」に加え、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。

毎日鳴らしたいとき	➡「時・分」のみセット
1ヵ月間毎日鳴らしたいとき	➡「月・時・分」のみセット
毎月同じ日に鳴らしたいとき	➡「日・時・分」のみセット
指定月日に鳴らしたいとき	➡「月・日・時・分」すべてセット

(4)セット後、点滅を止めるには、

Ⓑボタンを押します

※セット表示のまま2～3分経過すると自動的に点滅が止まります。

ストップウオッチの使い方

時刻・カレンダーモードのときにⓒボタンを3回押すと、ストップウオッチモードになります。

ストップウオッチは23時間59分59秒（24時間計）まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのときに、

Ⓐボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします

★計測中にⒷボタンを押すと、スプリット計測となります。(“ Split ”点灯）もう一度Ⓑボタンを押すとスプリットが解除されます。（スプリット計測中は、表示は止まりますが内部では計測を続けています。）

★計測終了後Ⓑボタンを押すと計測値が0に戻ります。



計測値が1時間を超えると、表示単位が「時・分・秒」になり、1秒単位で計測を行ないます。

●通常計測

Ⓐ スタート ⟹ Ⓐ ストップ ⟹ Ⓑ リセット

※積算計測…ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート（Ⓐボタンを押す）すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓐ スタート ⟹ Ⓑ スプリット ⟹ Ⓑ スプリット解除 ⟹ Ⓐ ストップ ⟹ Ⓑ リセット

●1・2着同時計測

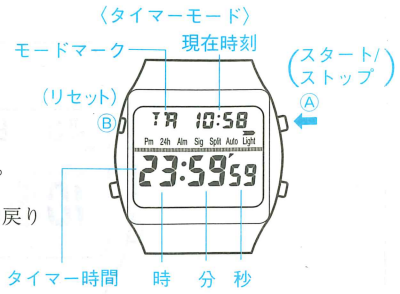
Ⓐ スタート ⟹ Ⓑ 1着がゴール（1着タイム表示） ⟹ Ⓐ 2着がゴール ⟹ Ⓑ 2着タイム表示 ⟹ Ⓑ リセット

タイマーの使い方

時刻・カレンダーモードのときにⓒボタンを2回押すと、タイマーモードになります。

タイマーは、1秒単位で減算計測を行ないます。セットした時間を経過すると10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

■タイマーの使い方



タイマーモードのときに、

Ⓐボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします

➡減算計測は１秒単位で行ないます。

★Ⓑボタンを押すと計測前の表示に戻ります。

★ロスタイムがあるときは

減算計測中、Ⓐボタンでストップ後、もう一度Ⓐボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。

Ⓐ タイマースタート ⟹ Ⓐ ストップ --ロスタイム-- Ⓐ 再スタート ⟹ タイムアップ

■タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間*電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

* オートリピートタイマーで、タイマー時間が10秒以下のとき、電子音が鳴るのは１秒間となります。

※このとき、ELバックライトON（Light点灯）にしておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。



■タイマー方法を選ぶ

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方法を選ぶことができます。

●リピートタイマー（繰り返し計測）
タイムアップになるとタイマー時間を表示して、減算計測が止まります。
同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）〈“ Auto ”点灯〉
タイムアップになるとタイマー時間に戻り、計測ストップするまで繰り返し減算計測を行ないます。

★タイマー方法の選び方
タイマー時間セットのときに、

Ⓛボタンを押します

➡Ⓛボタンを押すごとにオートマークが点灯／不点灯を繰り返します。
リピートタイマーのときはオートマークが不点灯で、オートリピートタイマーのときはオートマークが点灯 “ Auto ” します。

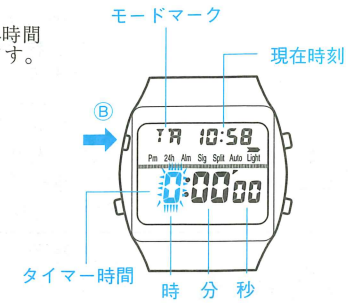


■鳴っている電子音を止めるには

タイムアップ報知の電子音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、全てのモードのときにⒶⒷⓒⓁボタンのうち、いずれか１つを押します。

■タイマー時間のセット

タイマー時間は「1秒（0:00'01）」から「24時間（0:00'00）」まで、１秒単位でセットできます。



(1)タイマーモードのときに、

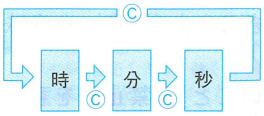
Ⓑボタンを押します

➡タイマー時間の「時」が点滅します。

(2)セット箇所を選ぶ

Ⓒボタンを押します

Ⓒボタンを押すごとにセット箇所（点滅表示）が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。





(3)点滅箇所のセット

Ⓐボタンを押します

➡Ⓐボタンを押すごとに、点滅している数字が１つずつ進みます。
※押し続けると早く進みます。



★表示が点滅しているときにⓁボタンを押すと、タイマー方法（リピートタイマー／オートリピートタイマー）が選べます。
（詳しくは左記「■タイマー方法を選ぶ」参照）



(4)セット後、点滅を止めるには

Ⓑボタンを押します

※セット表示のまま2～3分経過すると自動的に点滅が止まります。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精　　度：平均月差±15秒以内

基本機能：月・日・曜日・時・分・秒、午前／午後（Pm）／24時間制表示（24h）、フルオートカレンダー（1995～2039年）

ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒（00'00"00～59'59"99のとき）
1秒（1:00'00"～23:59'59"のとき）
計測範囲＝23時間59分59秒（24時間計）
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測

タイマー機能：計測単位＝1秒　セット単位＝1秒
タイムアップを10秒間の電子音で報知

アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝月・日・時・分
電子音＝20秒間
時報　毎正時に電子音で報時

その他：自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、
EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップCMOS-LSI

使用電池：CR-2016（電池別途販売）

電池寿命：約2年
（1日当たりライト3.5秒間、電子音を20秒間使用した場合）
※ただし、ELバックライトの使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
●1日当たりELバックライト3.5秒間を 5回使用：約15ヶ月
●1日当たりELバックライト3.5秒間を10回使用：約10ヶ月

ご使用上の注意

防水性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（２～３年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止ったりすることがあります。
●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因となります。

磁気

●家庭用電気製品（テレビなど）程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ・進みが生じることがあります。

薬品類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■お手入れについて

お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると

●「サビ」
・ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
・表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
・樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
・皮膚の弱い方や体調によりかぶれたりすることがあります。
・万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
・特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。

■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光商品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。
・長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
・長時間、濡れたままにしておくと色がおちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
・長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
・プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■電池交換について

最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗

●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

カシオ計算機株式会社

MA 9705-043601A